

精神科遠隔医療分科会

SIG Telepsychiatry

分科会長 岸本 泰士郎

慶應義塾大学医学部ヒルズ未来予防医療・ウェルネス共同研究講座

1. 分科会の目的

診療報酬獲得を含め、日本に広く Telepsychiatry の導入を行うために、研究活動の推進、さらに社会実装を目指した活動を行う。

2. 令和5（2023）年度活動の実績と成果

COVID-19 感染拡大を受け、適切なオンライン診療の拡大が急務となる中で、令和4年度診療報酬改定において、精神科領域での適用拡大・保険点数の拡張が行われなかったことを踏まえ、日本精神神経学会に設置された医療DXに関する委員会と連携し、精神科オンライン診療の普及に向けた意見の取りまとめなどを行なった。また、学術活動の面でも、当分科会メンバーが参加した精神科遠隔医療の有効性に関するシステマティックレビュー・メタアナリシス、ランダム化比較試験、医療従事者へのヒアリング等に関する研究が行われ、国内外の学術雑誌で発表された¹⁻³⁾。また、岸本が代表研究者となっている、国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)の「令和2年度障害者対策総合研究開発事業」に採択された「対面診療に比したオンライン診療の非劣勢試験:COVID-19によって最も影響を受け得る精神疾患に対するマスタープロトコル試験による検証」研究²⁾が規制改革推進会議健康・医療・介護ワーキンググループ（2023年12月18日）や中央社会保険医療協議会総会の会議資料（2023年12月22日）にも掲載され、令和6年度診療報酬改定の根拠になった。

1) Hagi, K., Kurokawa, S., Takamiya, A., Fujikawa, M., Kinoshita, S., Iizuka, M., ... & Kishimoto, T. (2023). Telepsychiatry versus face-to-face treatment: systematic review and meta-analysis of randomised controlled trials. *The British Journal of Psychiatry*, 223(3), 407-414.

2) Kishimoto, T., Kinoshita, S., Kitazawa, M., Hishimoto, A., Asami, T., Suda, A., ... & J-PROTECT collaborators. (2023). Live two-way video versus face-to-face treatment for depression, anxiety, and obsessive-compulsive disorder: A 24-week randomized controlled trial. *Psychiatry and Clinical Neurosciences*.

3) Kinoshita, S., Kitazawa, M., Abe, Y., Suda, A., Nakamae, T., Kanazawa, T., ... & Kishimoto, T. (2023). Psychiatrists' Perspectives on Advantages, Disadvantages and Challenging for Promotion Related to Telemedicine: Japan's Clinical Experience During COVID-19 Pandemic. *Journal of Technology in Behavioral Science*, 1-10.

3. 令和6（2024）年度活動計画

令和5年度分科会活動報告

令和6年度診療報酬改定に向けて、「情報通信機器を用いた精神療法」において診療報酬上の評価が新設され、前年度までの活動目標は一部達成できている状況にある。しかし、初診患者では算定が認められていないことや、対面診療よりも各種要件が厳しく設定されていることなどを踏まえ、より適切な普及に向け、好事例の収集や、臨床研究などを通し、より望ましい規制のあり方について政策提言を行っていきたいと考えている。また、精神科オンライン診療を適切に普及させていくため、臨床医向けの導入ガイドの作成を日本精神神経学会医療DXに関する委員会などと連動してすすめることで、地域医療に貢献できる精神科オンライン診療のあり方について検討し、その実装の手助けを行なっていきたいと考えている。